

**製品名: PBEF ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15802**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | ウサギポリクローナル抗体                                       |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,IHC,ELISA                                       |
| 反応性    | ヒト、マウス、ラット   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | ポリクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 1mg/ml   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。  |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |   |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000 |
| 分子量  | 54kDa   |

**抗原情報**

|              |  |
|--------------|--|
| 遺伝子名         | NAMPT  |
| 別名           | Nicotinamide phosphoribosyltransferase (NAmPRTase) (Nampt) (EC 2.4.2.12) (Pre-B-cell colony-enhancing factor 1) (Pre-B cell-enhancing factor) (Visfatin) |
| 遺伝子 ID       | 10135.0  |
| SwissProt ID | P43490   |
| 免疫原          | ヒト PBEF 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 411-460  |

**背景**

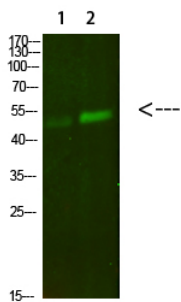
この遺伝子は、ニコチンアミドと 5-ホスホリボシル-1-ピロリン酸との縮合反応を触媒し、ニコチンアミドモノヌクレオチドを生成す

るタンパク質をコードしています。これは、ニコチンアミドアデニンジヌクレオチドの生合成における一段階です。このタンパク質はニコチン酸ホスホリボシルトランスフェラーゼ (NAPRTase) ファミリーに属し、代謝、ストレス反応、老化など、多くの重要な生物学的プロセスに関与していると考えられています。この遺伝子は、染色体 10 に擬遺伝子を持つ。[RefSeq 提供、2011 年 2 月]、触媒活性: ニコチンアミド D-リボヌクレオチド+ニリン酸 = ニコチンアミド + 5-ホスホ- $\alpha$ -D-リボース 1-ニリン酸。、注意: 当初 (PubMed:8289818) は、IL-7 および SCF による前駆 B 細胞コロニー形成への影響を増強することにより、初期 B 細胞系前駆細胞に作用するサイトカインであると考えられていた。、機能: ニコチンアミドと 5-ホスホリボシル-1-ピロリン酸の縮合を触媒し、NAD 生合成の中間体であるニコチンアミドモノヌクレオチドを生成する。これは、哺乳類の NAD 生合成経路における律速成分である。、経路: 補因子生合成; NAD(+)生合成; 5-ホスホ- $\alpha$ -D-リボース 1-ニリン酸とニコチンアミドからニコチンアミドリボヌクレオチドを生成する: ステップ 1/1。、類似性: NAPRTase ファミリーに属する。、組織特異性: 骨髄、肝組織、筋肉に多く発現する。心臓、胎盤、肺、腎臓組織にも存在する。、

## 研究分野

ニコチン酸およびニコチンアミドの代謝;

## 画像データ



PBEF ウサギポリクローナル抗体 (1:500 希釈) を用いた 1, マウス肺細胞および 2, マウス腎臓細胞のウェスタンブロット解析 (4°C、一晚)。二次抗体: ヤギ抗ウサギ IgG IRDye 800 (1:5000 希釈、25°C、1 時間)